

2024年1月19日

トヨタ・モビリティ基金、アイデアコンテスト「Mobility for ALL」部門で2023年度ファイナリストとして7チームを採択～2024年もアイデアを公募し、実用化に向けた支援を継続～

一般財団法人トヨタ・モビリティ基金（Toyota Mobility Foundation、以下「TMF」）は、アイデアやソリューションの社会実装を目指すコンテスト「Make a Move PROJECT」（<https://mobility-contest.jp/>）の「Mobility for ALL ～移動の可能性を全ての人に」部門において、障がいの有無などにかかわらず、誰もがモータースポーツ観戦を楽しむことができるアイデアを公募し、一次選考を通過した12チームと2022年度のファイナリスト8チームを合わせた計20チームが9月のモビリティリゾートもてぎで行われたスーパー耐久レース会場などでアイデアの社会実装に向けた実証実験を行いました。

この度、本20チームが、もてぎでの実証の成果と2024年の新たな取り組み計画について報告を行い、当事者の視点、持続可能性の観点から下記7チームを採択しました。7チームには更なる活動支援金（1チームあたり最大2,000万円）を授与し、社会実装に向け活動してまいります。また、2024年はモータースポーツ以外のスポーツ観戦を楽しむためのアイデアも新たに募集する予定です。

採択チーム	取り組み内容
株式会社 Ashirase	視覚障がいのある方の靴に装着し、振動で誘導するナビゲーションシステム「あしらせ」用の歩行ルートアルゴリズム構築及び目的地付近サポート連携検証
株式会社 Cone・Xi	在宅療養者と潜在看護師をマッチングする仕組みで、「いきたい」を実現する地域と連携した外出支援の事業モデル構築
株式会社 JDSC	視覚障がいのある方が SNS 上の関連コンテンツのフィードバックから大きな没入感を得る観戦体験の向上
株式会社 袖縁	困っている人が安心して楽しめる環境を作る、困っている人とサポーターをつなぐアプリの機能向上と事業モデル構築

テクノツール株式会社	重度肢体不自由のある方たちが操作できる e モータースポーツ用手動装置の商品化及び e モータースポーツチーム結成
株式会社電通	視覚障がいのある方向けスポーツ実況リアルタイム生成 AI「Voice Watch」の対応競技の拡大及び事業モデル構築
Lighthouse Tech LLC (スイス)	ファッション性と障害物検知の機能性を兼ね備えた視覚障がいのある方向けアイウェアフレームの日本市場における事業モデル構築

2022 年より開始した本コンテスト「Mobility for ALL ～ 移動の可能性を全ての人に」部門では、サーキット場内、及び、サーキット場までの移動課題を解決するアイデアや、障がいの有無などにかかわらず誰もがモータースポーツを楽しむことができるアイデアの公募を行っています。本年度は国内外からの 70 件を超える応募より、当事者視点や、提案革新性等の観点から、外部有識者などの意見も踏まえて 12 チームを採択し、9 月のモビリティリゾートもてぎなどにおける実証実験に向けた活動支援金（1 チームあたり最大 2,000 万円）を授与しました。実験では、100 人を超える実験参加者より各ソリューションに対する商品化への期待や改善要望、アドバイスなど様々なフィードバックをいただくことができました。

トヨタ自動車は創業以来、お客様、ビジネスパートナー、従業員、そして地域社会等、全てのステークホルダーを尊重しながら、自動車を通じた豊かな社会づくりを目指して事業活動を行っています。そして、より公益的な活動を行うことを目的に、2014 年 8 月、TMF を設立しました。

TMF は、誰もが自由に移動できるモビリティ社会の実現に向け、幅広いプロジェクトを通じて世界中の移動課題の解決に取り組んでいます。今後も、トヨタグループが事業活動を通じて培った技術やノウハウを活用し、多様なパートナーとの協働を通して、国連が定める SDGs（持続可能な開発目標）の考え方にも沿った活動を進めながら、人々が心豊かに暮らせる社会の実現に向けて貢献していきたいと考えています。

今回の取り組みに関連する SDGs の目標:



PRESS RELEASE



問い合わせ先) TMF 寺岡

TEL : 070-7414-5576

(受付時間 : 8:30~17:30 土・日祝日除く)

E-mail : info@toyota-mf.org